

研修プログラムの概要

プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 基本コース

プログラム責任者：小児・周産期センター部長 上牧 勇

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

プログラムの特色

必修科目として内科系 32 週、救急科 6 週、産婦人科、外科、小児科、地域医療、精神科、外来研修各 4 週、麻酔科 6 週を必修とする。1 年目は、主に内科系診療科で研修を行う。救急研修では、救急科に所属する 6 週間の研修以外に月 4～5 回の全科当直を行い、継続的にトレーニングを行う。2 年目に約 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、約 40 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。内科系、救急科、麻酔科については、1 年目に研修することを基本とする。また、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修する。

定員：1 学年 12 名、2 学年合わせて 24 名

開始日：採用年 4 月 1 日

終了日：翌々年 3 月 31 日

研修日程の 1 例

1 年目	内科系 5 科 32 週間				麻酔科 6 週間	外科 4 週間	救急科 6 週間
2 年目	小児科 4 週間	精神科 4 週間	地域 4 週間	産婦 4 週間	選択科目 40 週間		